

日本語教師訪日研修

申請要領 第2部 【文化のWA 特別研修】

令和8年度用 [NC-WA 2026]



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

1 趣旨

日本語パートナーズ派遣事業の対象国・地域において、日本語パートナーズ受入れ校等の日本語教師を対象に、日本語運用力の向上と日本理解を深めるための約4週間の研修です。

2 プログラム概要

(1) 期間

2026年9月22日～2026年10月22日（予定）

(2) 研修内容

ア 日本語

さまざまな言語活動を通して、日本語によるコミュニケーション能力を向上させます。

イ 日本文化／日本事情

日本文化や日本社会の実際に触れ、日本に対する理解を深めます。また、クラスメイトとのやりとりを通してさまざまな文化に触れることで自文化を見つめなおし、他者の文化を理解し尊重できるような異文化理解能力を身につけます。

3 申請資格

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、インドのいずれかの国で、日本語教育を行う教育機関（個人からの申請は受け付けません）。

参加候補者は、申請要領第1部【共通事項】に記載の要件を満たしていなければなりません。

加えて、本研修では以下の条件が必要となります。

(1) インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、インドのいずれかの国籍を有していること。

(2) 日本語教授年数：2025年12月1日時点で、1年以上の日本語教授年数を持つこと。（個人教授及び教育実習の期間は除きます。）

(3) 日本語運用力：申請時点で下記のいずれかを満たしていること。

ア JF日本語教育スタンダードでA2レベル若しくはB1レベル程度

イ 日本語能力試験N3若しくはN4程度、又は旧日本語能力試験2級若しくは3級程度

※ 今までに日本語能力試験を受験したことのない参加候補者は、本申請要領に別添された日本語運用力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を添付書類2「候補者の日本語運用力、日本語教授歴などについて」の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。テスト自体の提出は不要です。

4 選考方針

- (1) 選考にあたっては、日本語パートナーズの派遣実績や今後の受け入れ可能性などを勘案し、当該国・地域や機関での日本語教師研修の必要性、候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション（専任／非専任）、影響力等の観点等も踏まえて審査します。
- (2) 2025 年 12 月 1 日時点で、55 歳以下の参加候補者を優先します。
- (3) 2025 年 12 月 1 日時点で、訪日経験のない参加候補者を優先します。

5 参考情報

令和 7（2025）年度採用実績

なし（令和 8（2026）年度より開始）